



# 人権についての市民意識調査 《概要版》

豊中市



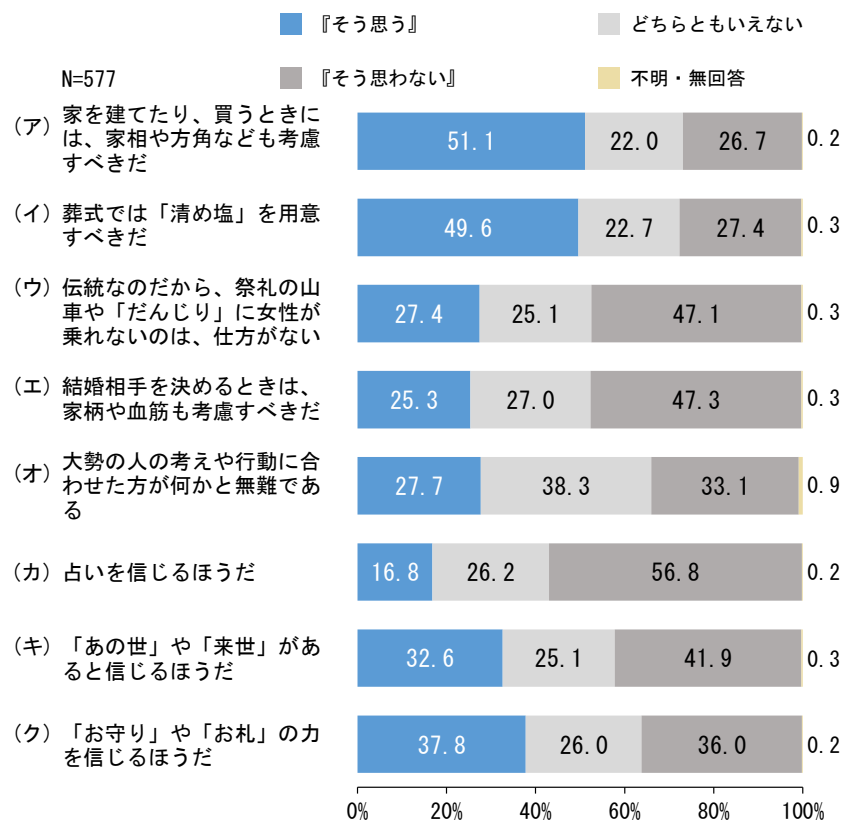
# 調査概要

- [1]調査の目的 : 市民の人権に関する意識や態様を把握し、豊中市が行う人権教育・啓発など、今後の人権に関する施策を推進するうえでの基礎資料とすることを目的として実施しました。
- [2]調査対象 : 豊中市内に居住している満16歳以上の男女2,500人
- [3]抽出方法 : 住民基本台帳から、性別・年齢別構成を考慮し、2,000人を層化抽出し（これを標準サンプルという）、回収率が低いとみられる16～29歳については、別に500人を抽出しています（これを追加サンプルという）。
- [4]調査方法 : 郵送による配付・回収 ※インターネットによる回収を併用
- [5]調査期間 : 令和7年（2025年）7月9日（水）～8月8日（金）
- [6]有効回答率 : 659件（有効回答率：26.4%）  
（このうち、標準サンプル：577件、追加サンプル：82件）

## [7]概要版の見方

- ①調査結果は標準サンプルのものになります。
- ②回答は、各質問回答者数（「N=」と表記）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ③複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ④無記入や回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求める設問に対し2つ以上回答している場合は「不明・無回答」として処理しています。
- ⑤図において、コンピューターの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。
- ⑥概要版では、意見や考えにあてはまるかどうかなどを尋ねた質問の選択肢について、グラフ上、下記のように合算して表示しています。
  - ・「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」→『そう思う』
  - ・「どちらかといえばそうは思わない」+「そう思わない」→『そう思わない』
  - ・「男性のほうが非常に優位である」+「どちらかといえば男性のほうが優位である」→『男性のほうが優位』
  - ・「どちらかといえば女性のほうが優位である」+「女性のほうが非常に優位である」→『女性のほうが優位』
  - ・「よくあてはまる」+「ややあてはまる」→『あてはまる』
  - ・「あまりあてはまらない」+「まったくあてはまらない」→『あてはまらない』

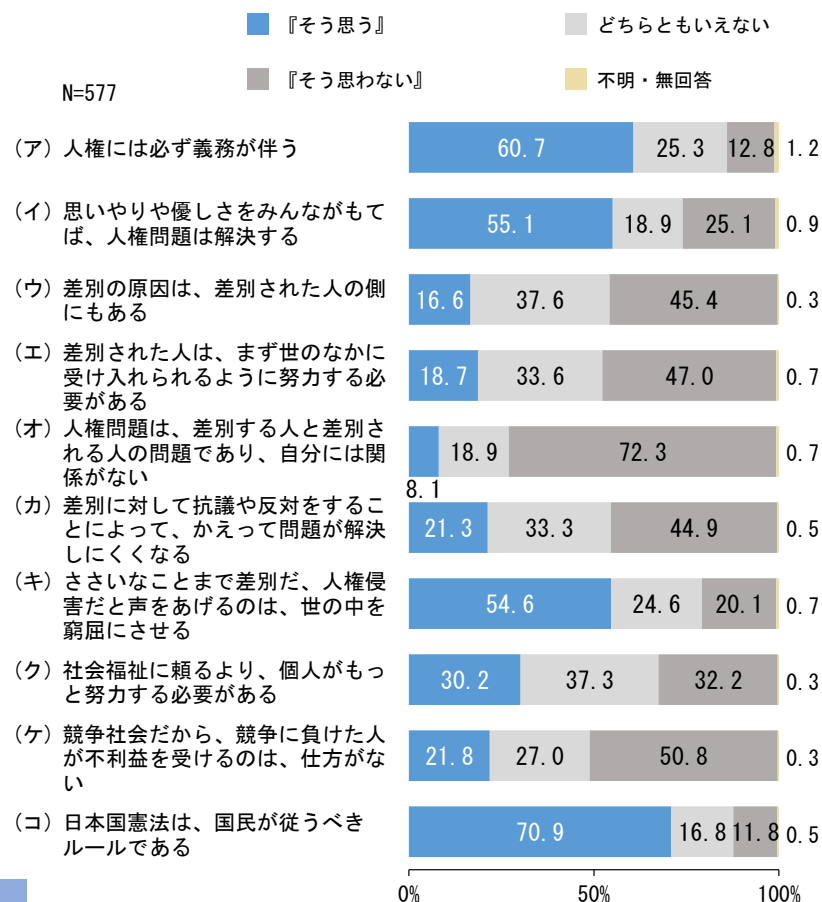
# 1. 次のような意見や考え方について、あなたはどのように思いますか？



## ○ 慣習や俗説に関する考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(ア) 家を建てたり、買うときには、家相や方角なども考慮すべきだ」(51.1%)で、次いで「(イ) 葬式では『清め塩』を用意すべきだ」が49.6%となっています。
- 一方、『そう思わない』の割合が最も高いのは、「(カ) 占いを信じるほうだ」(56.8%)で、次いで「(エ) 結婚相手を決めるときは、家柄や血筋も考慮すべきだ」が47.3%となっています。

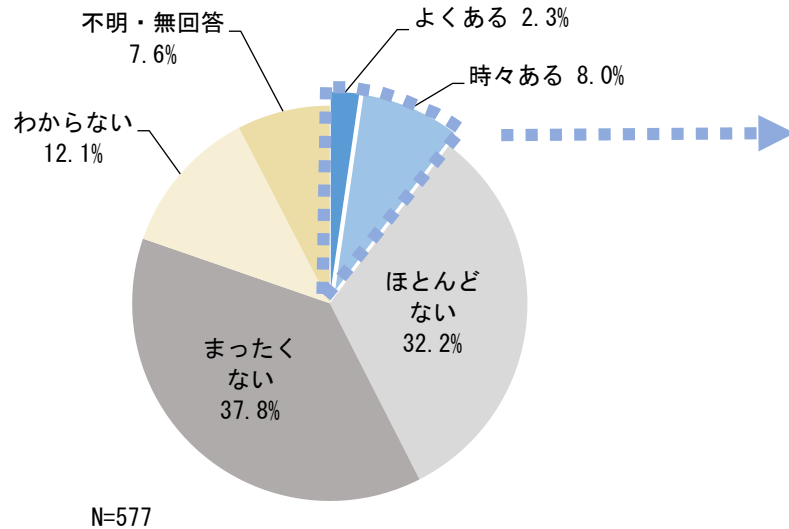
## 2. 人権や差別問題に関する考え方について、あなたはどのように思いますか？



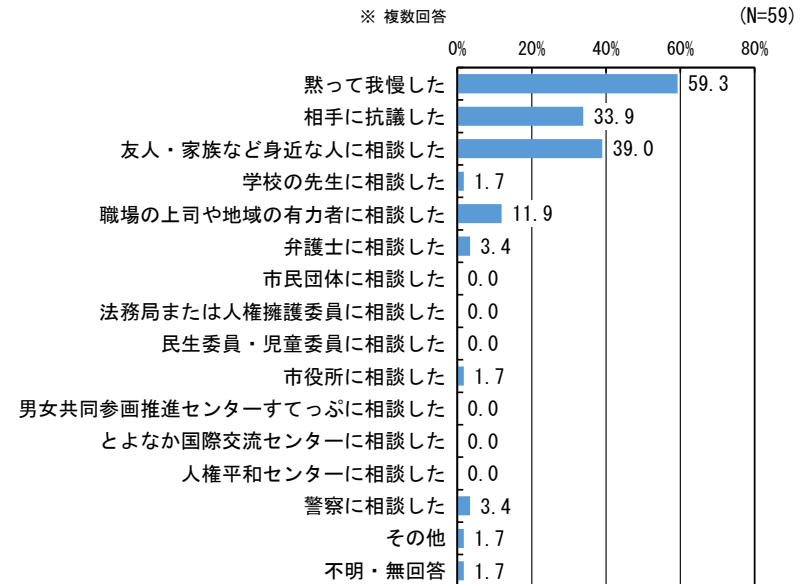
### ○ 人権や差別問題に関する考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(コ) 日本国憲法は、国民が従うべきルールである」(70.9%)で、次いで「(ア) 人権には必ず義務が伴う」が60.7%となっています。
- 一方、『そう思わない』の割合が最も高いのは、「(オ) 人権問題は、差別する人と差別される人の問題であり、自分には関係がない」(72.3%)となっています。

### 3. 人権侵害をされたことがありますか？



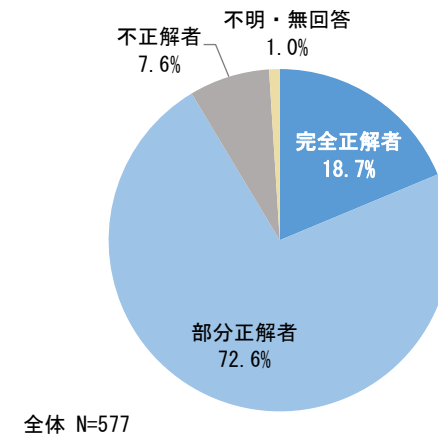
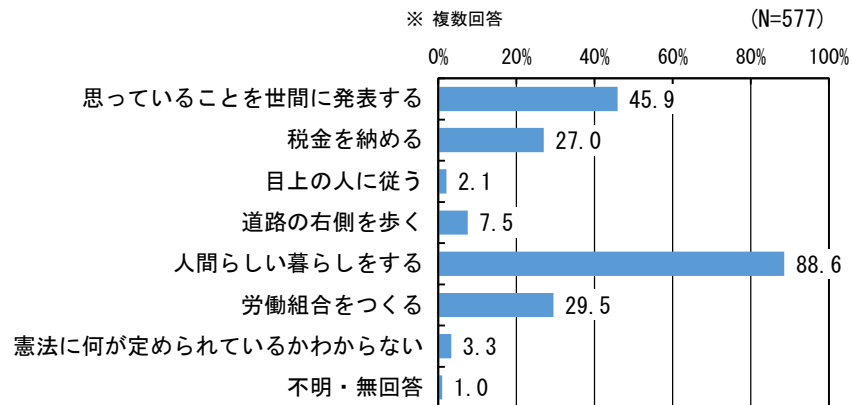
#### ■ 人権侵害を受けたときの対応



#### ○ 直近5年間において人権を侵害された経験

- 「よくある」が2.3%、「時々ある」が8.0%で、人権侵害を受けたことがある割合は10.2%です。
- 人権侵害を受けたことがあると回答した人に、人権侵害を受けたときの対応を尋ねると「黙って我慢した」の割合が59.3%で最も高く、次いで「友人・家族など身近な人に相談した」が39.0%となっています。

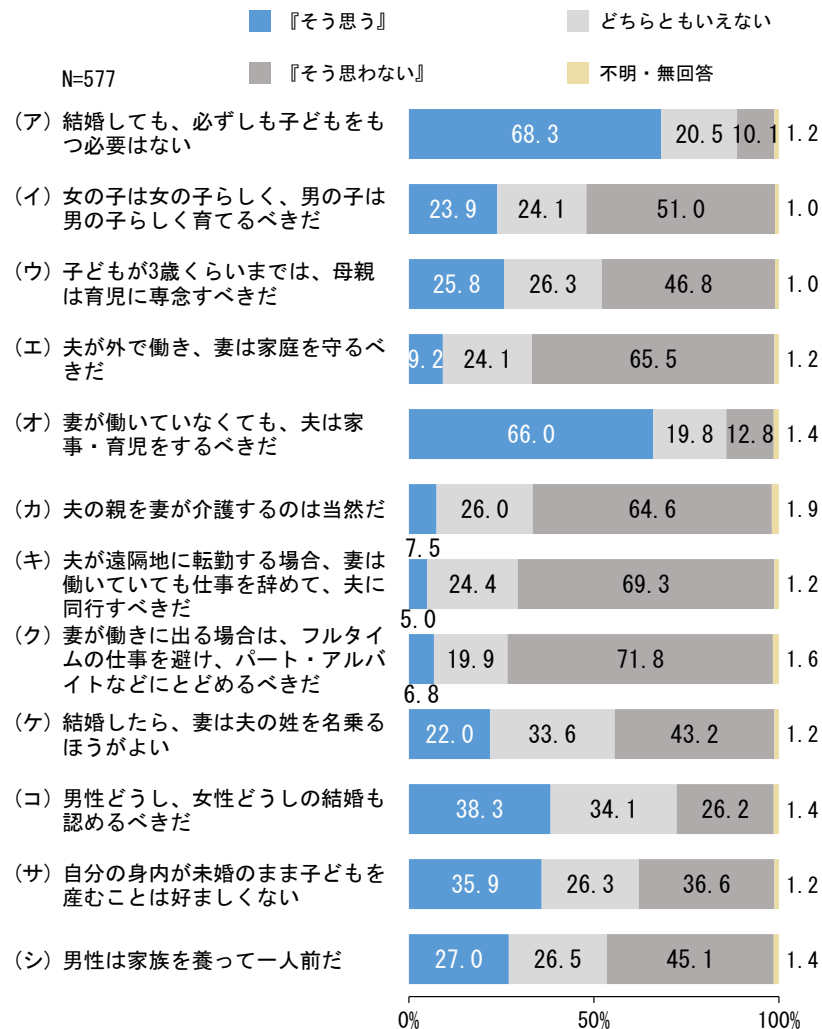
#### 4. 憲法により「国民の権利」と定められているものは何だと思いますか？



##### ○ 憲法において「国民の権利」と定められているもの

- 「人間らしい暮らしをする」の割合が88.6%で最も高く、次いで「思っていることを世間に発表する」が45.9%、「労働組合をつくる」は29.5%となっています。
- 「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」のみを選んだ割合（完全正解者）は18.7%、部分正解者は72.6%、不正解者は7.6%となっています。

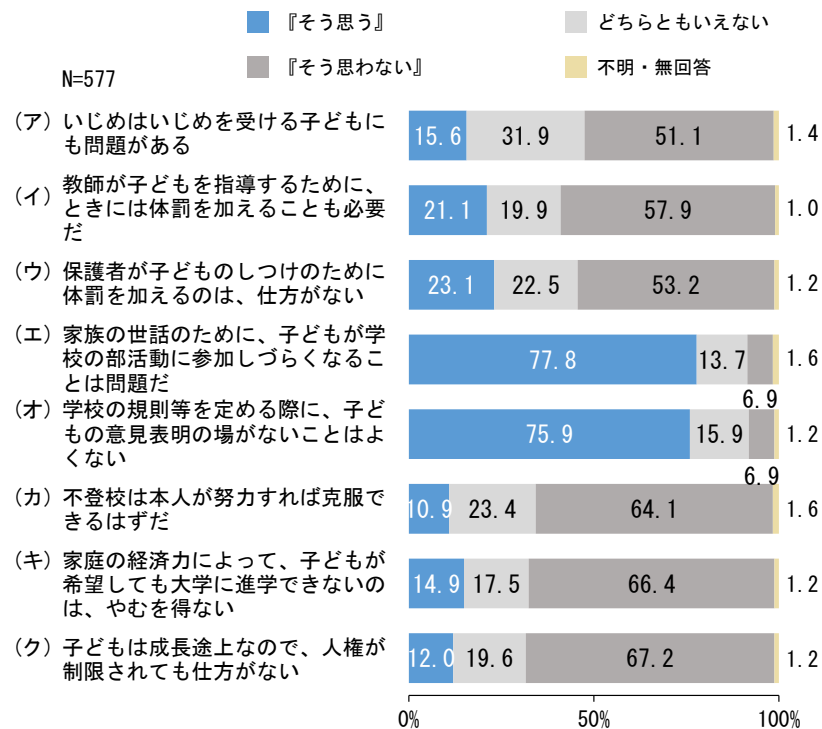
## 5. 家族に関わる様々な意見や考え方について、どのような考えをお持ちですか？



### ○ 家族に関わるいろいろな意見や考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(ア) 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない」(68.3%)で、次いで「(オ) 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきだ」が66.0%となっています。
- 一方、『そう思わない』の割合が最も高いのは、「(ク) 妻が働きに出る場合は、フルタイムの仕事を避け、パート・アルバイトなどにとどめるべきだ」が71.8%で、次いで「(キ) 夫が遠隔地に転勤する場合、妻は働いていても仕事を辞めて、夫に同行すべきだ」が69.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「(エ) 夫が外で働き、妻は家庭を守るべきだ」「(カ) 夫の親を妻が介護するのは当然だ」の『そう思わない』の割合が10ポイント以上上昇しています。

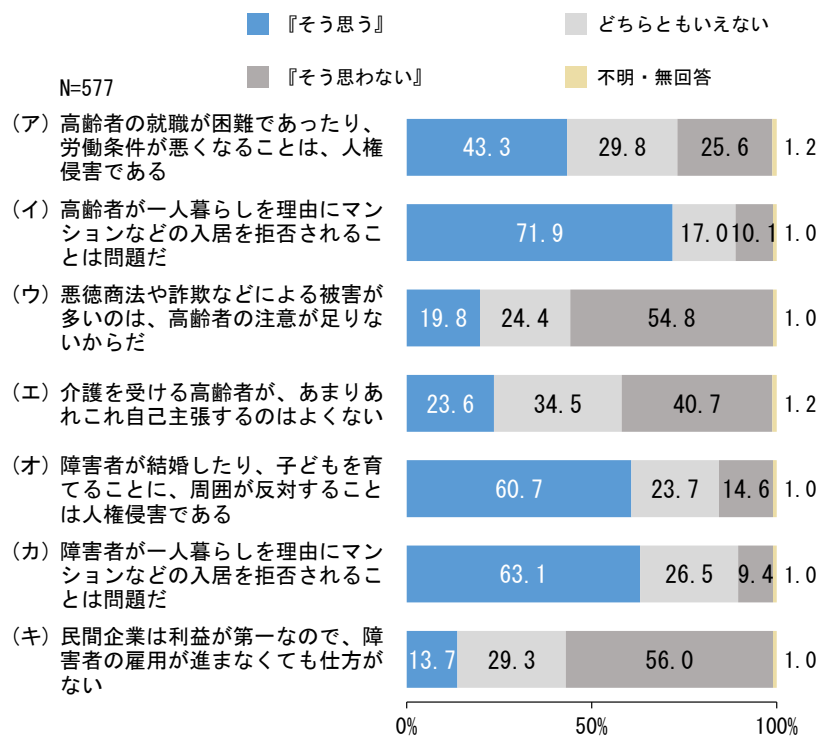
## 6. 子どもの人権について、どのような考えをお持ちですか？



### ○ 子どもの人権に関する考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(エ) 家族の世話のために、子どもが学校の部活動に参加しづらくなることは問題だ」(77.8%)で、次いで「(オ) 学校の規則等を定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない」が75.9%となっています。

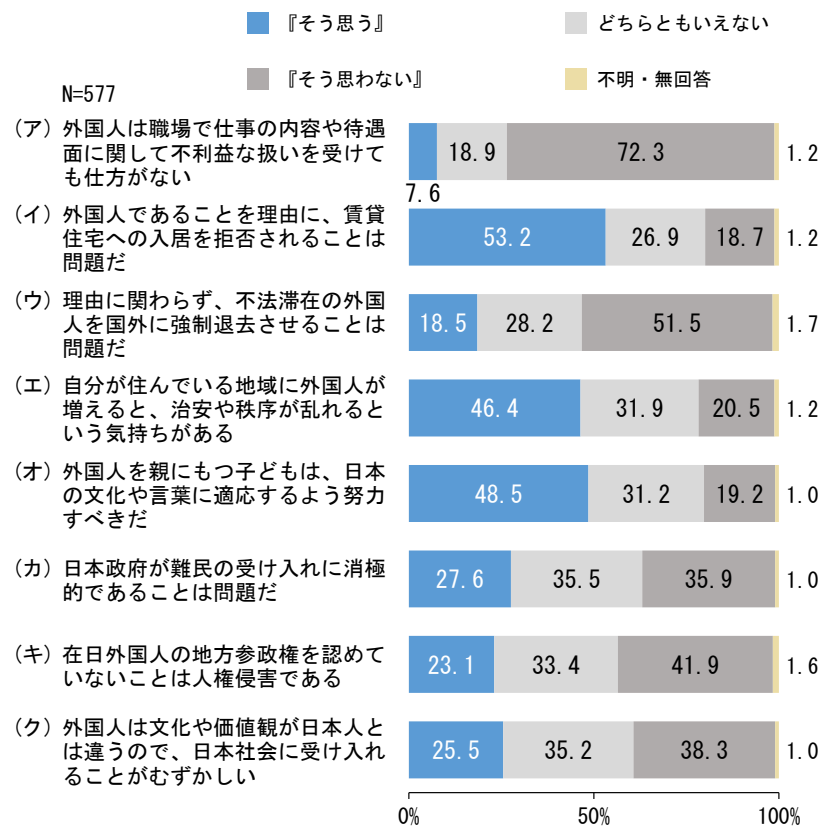
## 7. 高齢者や障害者の人権について、どのような考えをお持ちですか？



### ○ 高齢者や障害者の人権に関する考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(イ) 高齢者が一人暮らしを理由にマンションなどの入居を拒否されることは問題だ」(71.9%)で、次いで「(カ) 障害者が一人暮らしを理由にマンションなどの入居を拒否されることは問題だ」が63.1%、「(オ) 障害者が結婚したり、子どもを育てることに、周囲が反対することは人権侵害である」が60.7%となっています。

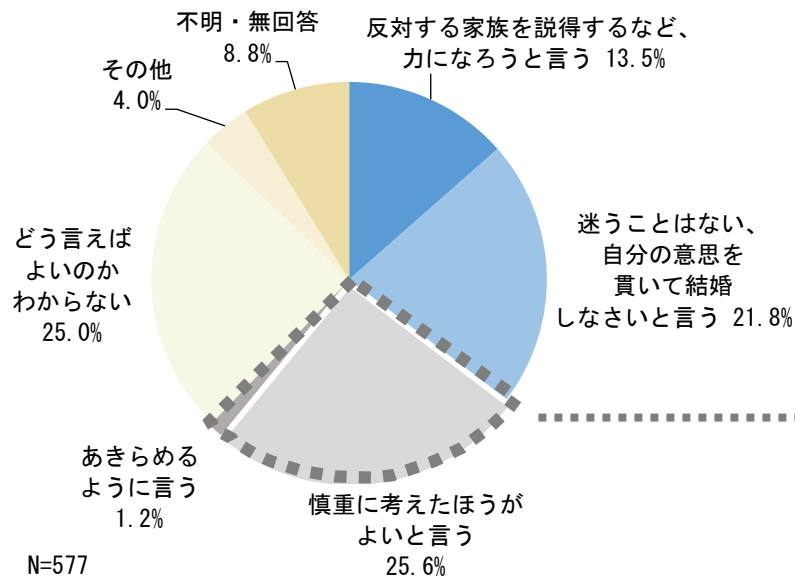
## 8. 外国人の人権について、どのような考えをお持ちですか？



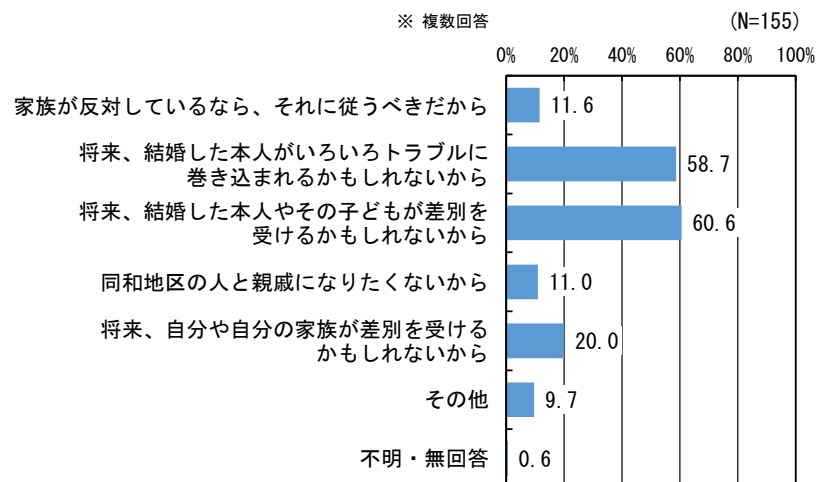
### ○ 外国人の人権に関する考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(イ) 外国人であることを理由に、賃貸住宅への入居を拒否されることは問題だ」(53.2%)で、次いで「(オ) 外国人を親にもつ子どもは、日本の文化や言葉に適應するよう努力すべきだ」が48.5%、「(エ) 自分が住んでいる地域に外国人が増えると、治安や秩序が乱れるという気持ちがある」が46.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「(キ) 在日外国人の地方参政権を認めていないことは人権侵害である」の『そう思う』の割合が10ポイント以上低下しています。

## 9. 同和地区出身者との結婚を反対されている親類に、どのような態度を取りますか？



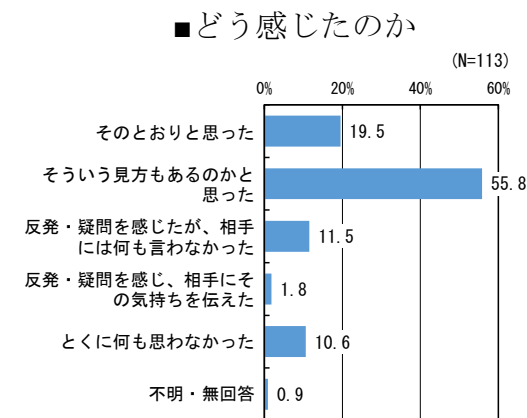
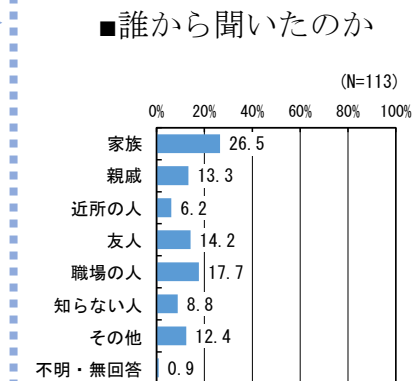
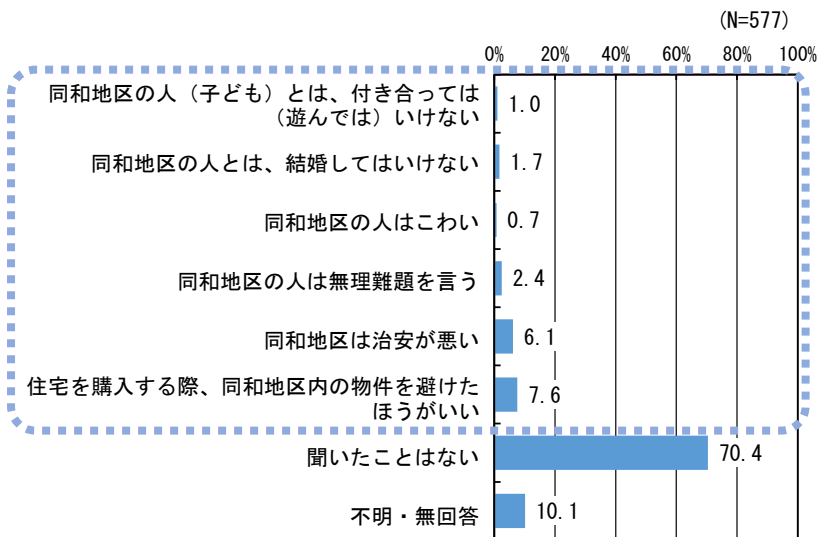
### ■同和地区出身者との結婚に否定的な理由



### ○ 同和地区出身者との結婚を反対されている親類からの相談に対する態度

- 「慎重に考えたほうがよいと言う」の割合が25.6%で最も高く、次いで「どう言えばよいかわからない」が25.0%となっています。
- 同和地区出身者との結婚に否定的な回答をした人にその理由を尋ねると、「将来、結婚した本人やその子どもが差別を受けるかもしれないから」（60.6%）の割合が最も高くなっています。

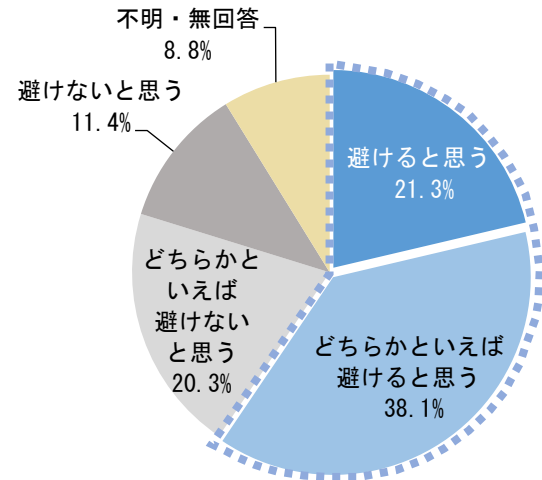
## 10. 同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか？



### ○ 直近5年間で同和問題に関する差別的な発言を直接聞いた経験

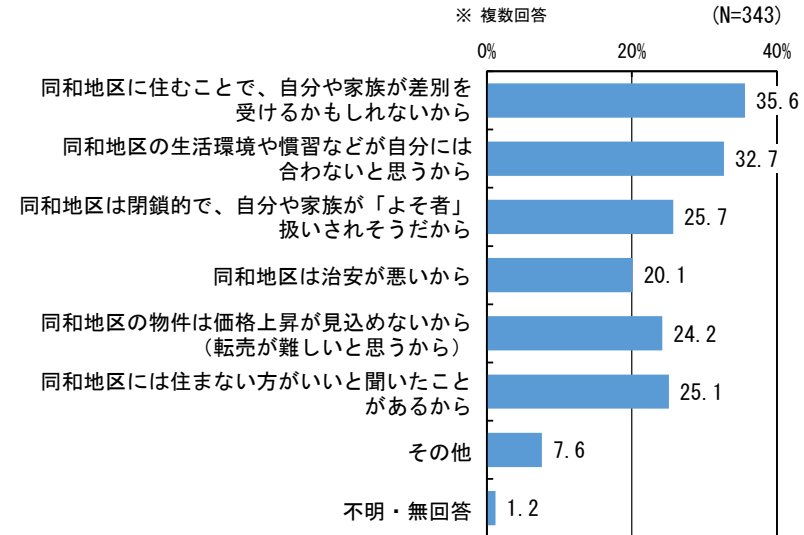
- 「聞いたことはない」が70.4%、「何らかの発言を聞いたことがある」割合は19.5%となっています。
- 聞いたことがある人に、それは誰から聞いたのか尋ねると、「家族」の割合が26.5%で最も高く、次いで「職場の人」が17.7%となっています。
- それを聞いたとき、どう感じたのか尋ねると、「そういう見方もあるのかと思った」の割合が55.8%で最も高く、次いで「そのとおりに思った」が19.5%となっています。

## 1.1. 同和地区への転居について、どのような考えをお持ちですか？



N=577

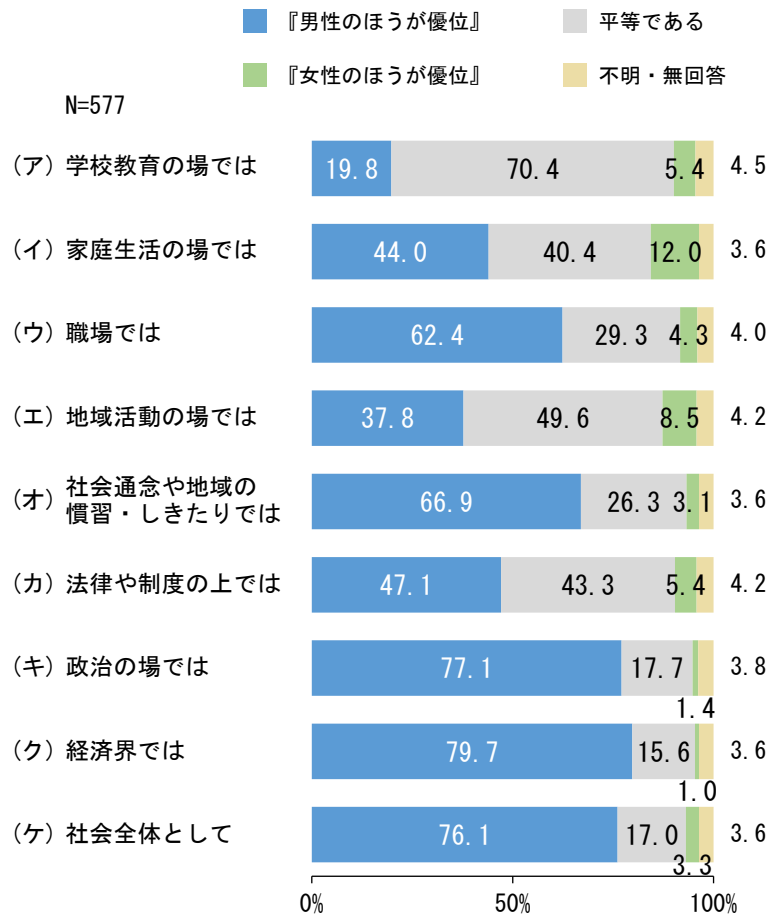
### ■同和地区への転居を避ける理由



### ○ 同和地区への転居についての考え方

- 「どちらかといえば避けると思う」(38.1%)の割合が最も高く、次いで「避けると思う」が21.3%となっています。
- 同和地区への転居を避ける理由は、「同和地区に住むことで、自分や家族が差別を受けるかもしれないから」(35.6%)の割合が最も高く、次いで「同和地区の生活環境や慣習などが自分には合わないと思うから」が32.7%となっています。

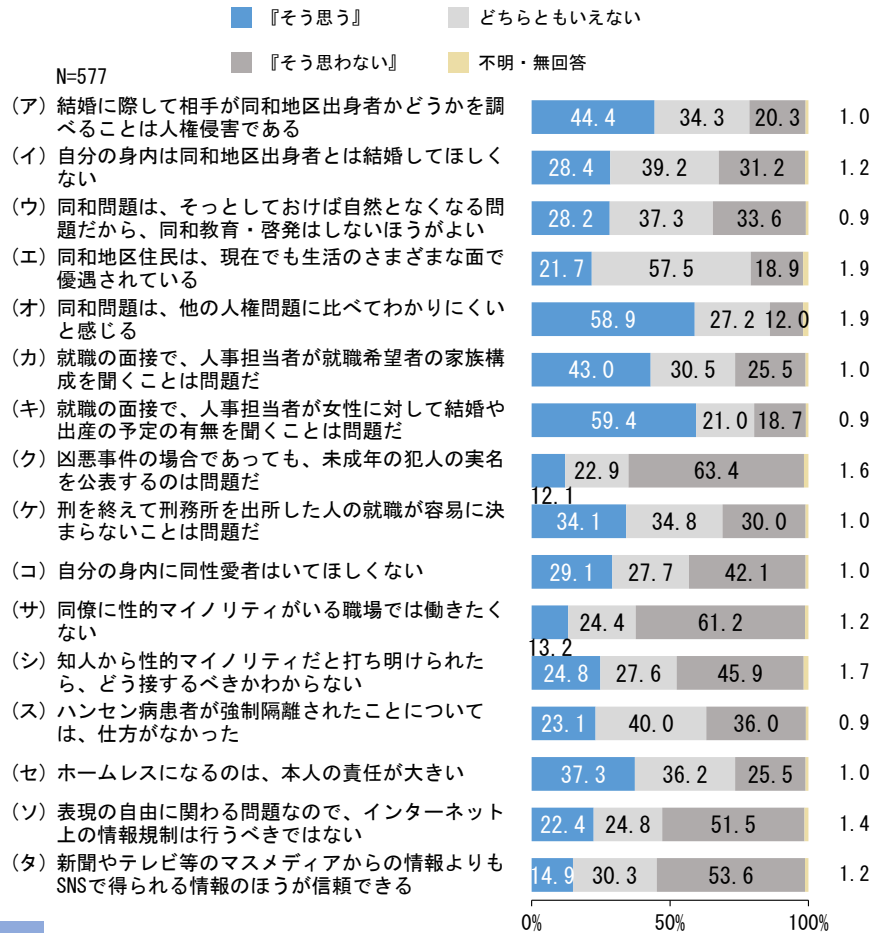
## 1 2. 男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか？



### ○ 男女の地位の平等感

- 「(ケ) 社会全体として」では『男性のほうが優位』が76.1%、「平等である」が17.0%、『女性のほうが優位』が3.3%となっています。
- 『男性のほうが優位』の割合は「(ク) 経済界では」(79.7%)が最も高く、次いで「(キ) 政治の場では」が77.1%です。
- 「平等である」の割合は「(ア) 学校教育の場では」(70.4%)が最も高くなっています。

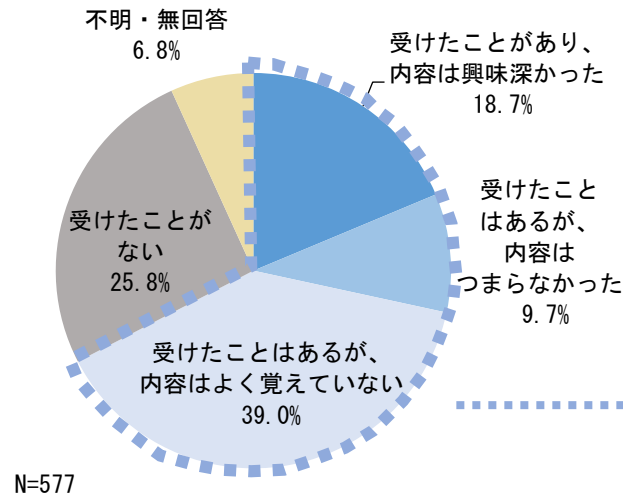
### 1 3. 次のような考え方についてどのように思いますか？



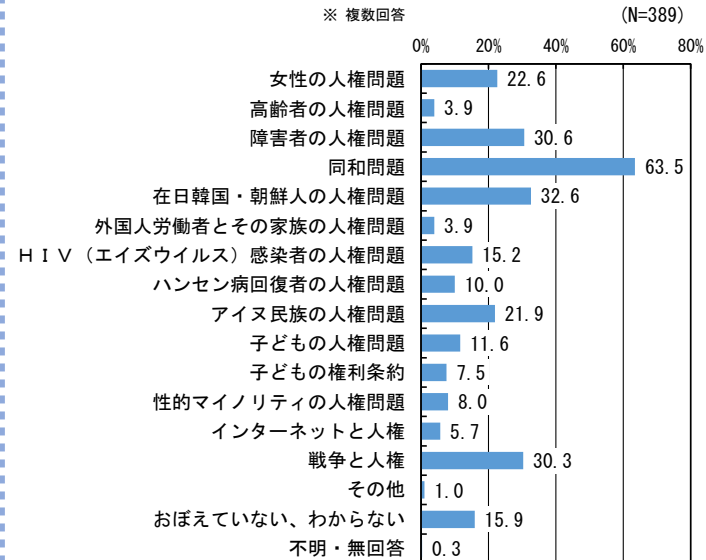
#### ○ 差別や人権問題に関する考え方

- 『そう思う』の割合が最も高いのは、「(キ) 就職の面接で、人事担当者が女性に対して結婚や出産の予定の有無を聞くことは問題だ」(59.4%)で、次いで「(オ) 同和問題は、他の人権問題に比べてわかりにくいと感じる」が58.9%となっています。
- 『そう思わない』の割合が最も高いのは、「(ク) 凶悪事件の場合であっても、未成年の犯人の実名を公表するのは問題だ」(63.4%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「(ア) 結婚に際して相手が同和地区出身者かどうかを調べることは人権侵害である」「(コ) 自分の身内に同性愛者はいてほしくない」の『そう思う』の割合が10ポイント以上低下しています。

## 1 4. 人権に関する教育を受けたことがありますか？



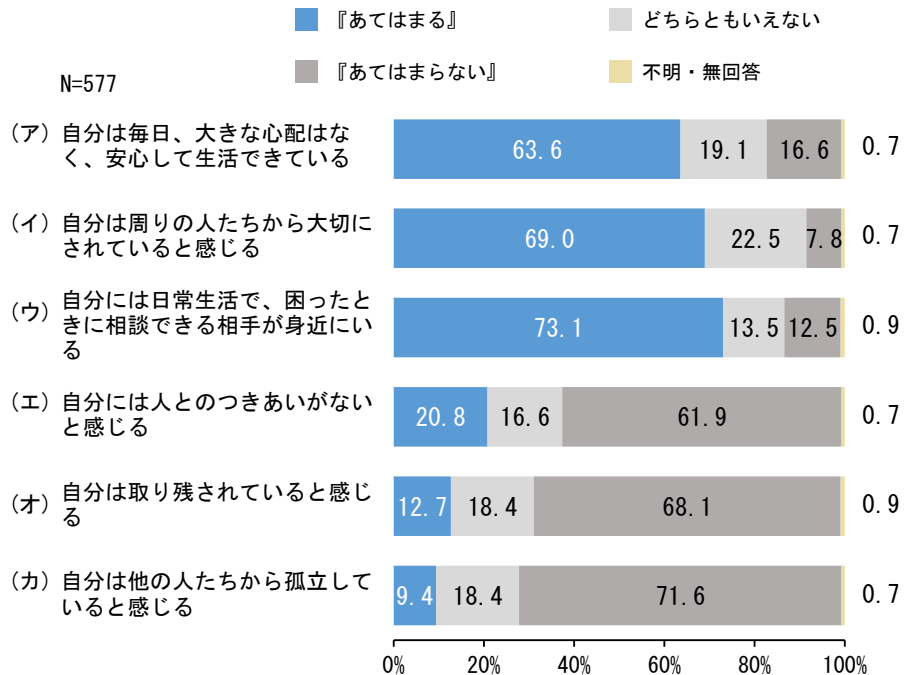
### ■受けた人権教育の内容



### ○ 人権に関する教育

- 「受けたことはあるが、内容はよく覚えていない」の割合が39.0%で最も高く、次いで「受けたことがない」が25.8%となっています。
- 受けた人権教育の内容は、「同和問題」（63.5%）の割合が最も高く、次いで「在日韓国・朝鮮人の権利問題」が32.6%、「障害者の権利問題」が30.6%、「戦争と人権」が30.3%となっています。

## 15. 次のことがらについて、あなたご自身にどの程度あてはまりますか？



### ○ 自身の状況

- 『あてはまる』の割合が最も高いのは、「(ウ) 自分には日常生活で、困ったときに相談できる相手が身近にいる」(73.1%)で、次いで「(イ) 自分は周りの人たちから大切にされていると感じる」が69.0%、「(ア) 自分は毎日、大きな心配はなく、安心して生活できている」が63.6%となっています。

## 人権についての市民意識調査《概要版》

令和8年（2026年）3月

豊中市 市民協働部 人権政策課 人権平和センター

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

メール [jinken@city.toyonaka.osaka.jp](mailto:jinken@city.toyonaka.osaka.jp)